



園長コーナー

引地 美津代

先日の秋祭りでは、突然の雨にも関わらず、たくさんの方にご参加いただきありがとうございました。子どもたちのうれしそうに踊る様子や家族で過ごす幸せな表情を見ると、毎回ですが、職員とともに「子どもたちの思いでに残る行事」にしたいと考え、それぞれの先生の思いを下に進めた結果だとうれしく思います。10月20日の運動発表会、人形劇、クリスマス会など、子ども主体の行事を計画し、すすめていながら、それぞれの成長を振り返っていきたいと思います。

今、子どもたちはかえでの暮らしを満喫してくれています。「先生！見て～こんなん作った！」と高く積み上げたカプラを自慢げに見せてくれたり、虫探しの名人は、『虫がいた』の声に皆が走り寄り、自信たっぷりに「この虫はね・・・だからここをもってつかまえるといいんだよ～」と話す姿に一年の成果と開園当初不安でいっぱいだった保育園生活がウソのようです。

かえで保育園では、乳児期は丁寧なかかわりを体験し、安心して人との関係づくりができるよう保育を進めています。そして幼児期は、子どもたちが自分自身で考え、経験し、挑戦できるよう保育を計画しています。考える力は、1歳児後半からぐんぐんついてきます。こうすれば心地よい、こうすればおともだちと遊べる。子ども同士の関係づくりは遠慮も体裁もありませんから、とてもストレートです。

その中で大人のいない関与は自分で解決したり、考えたりする力を弱めてしまいます。様々な場面で、保育者がどのようにかかわることがその子どもにとって必要か見極め、寄り添っています。

いつも周りに依存し、自分で何かをする力が弱い子どもさんには、自分より小さな子供のお世話をしてもらいました。すると自分が今までやってもらっていたことや、聞いていたことを人の手を借りずに一生懸命してあげる姿がみられました。眠っていた力を出せた瞬間でした。

一方では何時もから意地を張って何でもできるし、ひとりでもいいの！と過ごしていた子もある日、グループで一つの作品を作ることになり、困っていましたが、偶然に同じ考えが重なり、わいわい言いながら、一つの思いで協力しながら素晴らしい作品に仕上がりました。皆が認め合い、自分自身も人との触れ合いが心地よかった場面でした。いろんなきっかけで子どもの姿は日々変わっていきます。

こうして、保育園の生活は、人が生きていく基本を学んでいく場となっています。

自分の思いをしっかり相手に伝える力、少し苦手なことでも逃げてしまわず、やってみる力、人と関わる心地よさを味わえる空間体験、自分の頑張りを認めてくれる家族以外の人存在を知る機会、など、毎日の生活の中で体験し、日々生活を重ねていき培っていきます。

私たち保育者の関わりによって、本来の子ども力を眠らせたり、可能性を消してしまったりしているかもしれません。まずは、『待つ』『常に穏やかに』『子供の力を信じて見守る』をベースに今後も楽しい保育園生活、空間を提供していきたいと思っています。

子どもたちがどんな時代になっても自分で生きていく力と強い心をそだてたい！と思うこの頃です。わが子の保育園生活をゆっくり見てみたいと思われる方は、どうぞ申し出ください。

# お知らせ



## <お知らせ>

- お待たせしました！保護者の方向けの本の貸し出しを開始しました。「にこにこ広場前のベンチ横」に貸出コーナーを用意しました。是非、ご利用ください。本の末頁にカードが入っています。名前を書いて事務所までお持ちください。
- 体操服の長袖、長ズボンの販売をします。ご希望の方は申し込みください。詳しくは、後日お配りしますお便りをご覧ください。
- 10月20日は運動発表会です。お楽しみに！

## <おねがい>

### • 持ち物

近日、名前のない、名前が薄くなってきている持ち物が出てきており、行方不明の物も出てきています。持ち物にはすべて名前を記入し、薄くなってきているものは名前が分かるようにご協力お願いします。

### • 掲示板

玄関の掲示板には、色々な行事のお知らせや大切なことなどを貼り出すようにしています。降園される時には必ず、掲示板のご確認をよろしくお願いします。

### • 登園、降園時

保育園の前で一般の方の接触事故がありました。開園時にお約束しましたように、車の走行は山からの一方通行にご協力ください。

歩かれる時も園南側からではなく、山側から南へあるいてきてください。ご協力よろしくお願いします。園の前は全面駐停車禁止です！子どもたちの安全を守るため必ず守ってください！

### • 服装

厳しい夏も終わり、肌寒い季節になってきました。ひんやりした風も吹いてきていますので、お子さんのロッカーの服の衣替え、うす手の羽織るものをご準備、お願いします

## <11月の予定>

- 7日（月）～18日（金）

乳児（0, 1,2 歳児クラス）の保育参加を行います。詳しくは日程調査表をお渡しします。ぜひご参加ください。

- 6日 クラルテの人形劇があります。

## <子育て支援コーナー>

### ★10月の事業予定

10月 2日（火）	育児カウンセリング	予約制
11日（木）	ベビーマッサージ④	予約終了
18日（木）	大きな本の読み聞かせ	
23日（木）	公園で遊ぼう（東三公園）	直接公園に

# おはなしコーナー

今月は

前田 達也 先生



かえで保育園の子どもたちと体育あそびを一緒にするようになり、約 1 年半経ちました。最初は「男の先生嫌！！」といった女の子の声もありましたが、今では「体育あそびが楽しい」と、心身で感じる事ができるので、私にも興味を持ってきています。

体育あそびの中では主に、サーキット運動というものを行っています。この活動は、「体を動かしたい」という乳幼児期の子どもたちが持つ生理的な欲求を満たす為に、十分な運動量を確保して、情緒の安定をはかります。さらには「多彩な動きの経験」により、幼児期に最も発達が著しいといわれている「神経系の発達」を促すことが可能となります。その成果として、調整力《平衡性、協応性、敏捷性など》を高め、身体機能を向上させます。特にマット・跳び箱・鉄棒を中心に行いますが、「出来た、出来ない」ととらわれすぎず、その子の課題と一緒に向き合い、目標達成に向けてチャレンジしていきます。また、ふれあいゲームという活動も行います。これは力を合わせたり、比べたりする経験から心のふれあいへと導くものです。相手の力や重さを感じ、迷ったり戸惑ったりと、「葛藤」する場面を意図的に作り出し、子どもたち自身が「考え、決断し、行動する力」を伸ばしていきます

以上の取り組みを行う中で、常に子どもたちに伝えていることがあります。それは、「仲間の気持ちを考える」ということです。鉄棒の順番を待っている子の前に横入りしたら、その子はどのような気持ちになるだろう？二人で協力して行う活動なのに一人自分勝手なことをしていたら、相手は何を思うかな？など問いかけます。つぼみ組さんやいぶき組さんのように年齢が低ければまだまだ理解は難しいですが、ひかり組やだいち組になるにつれて理解が深まっています。

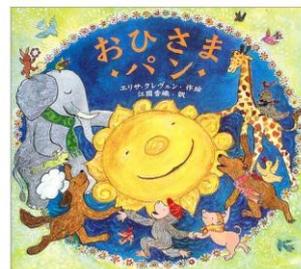
10月20日に行われる運動発表会のプログラムの一つにサーキット運動があります。このプログラムでは、子どもが意欲的に体を動かす様子、必死にチャレンジしている様子、今までできなかったことができるようになったという自信満々な様子を見てあげてください。そして、たくさん頑張っている姿を認めてあげてください。

ウエルネス 前田達也

# 絵本コーナー

『おひさまパン』 作・絵 エリサ・クレヴェン 訳 江國香織

おひさまが隠れて動物たちの街は寒くて暗くてどんよりしています。そこでパン屋さんが生地をこね始めるとおひさまパンはどんどん膨らんで、なんとも素敵なおいさを漂わせました。それにつられて動物たちも集まって、さらには…本屋さんで表紙を見て、手作りのような温かなタッチの絵に惹かれました。ほかしたりにじませたり縁取ったりと、色々な手法や素材を使って絵が描かれ、さらにレースや布でコラージュされた絵が繊細でとてもかわいらしい作品です。たくさん出てくる動物たちにも注目です！表情豊かな動物たちの姿を楽しみながら読んであげてください。



西村 友貴

# りょうりのへやから



朝夕も涼しくなり、木の葉っぱも色づき始め、すっかり秋らしくなってきました。

秋といえば、スポーツ・読書・芸術・・・そして食欲の秋です!!!

新米・さつまいも・かぼちゃ・きのこ・梨・柿・さんま・いわし・かつおなど、たくさんの食べ物が旬を迎えます!!!

秋の旬の野菜をたくさん使ったお料理も考えています。「食欲の秋」、たくさん食べてほしいと思っています。

さて、10月には“ハロウィン”という行事がありますが、ハロウィンといえばカボチャをくり抜いた中にロウソクを立てたランタンが有名です!

しかし、ハロウィンの元々の起源はヨーロッパで、かぶをくり抜いた中にロウソクを立てたランタンを使用していたようですが、この行事がヨーロッパからアメリカに伝わった時に、かぶではなく身近にあったカボチャで代用し、そのスタイルが世界に伝わりハロウィンといえば“カボチャ”となったそうです。

そんなランタンにまで変身してしまうカボチャですが、お料理でも煮物や天ぷらはもちろんプリンやケーキなどの甘くておいしいお菓子にまで大変身してしまいます!

園でも、カボチャを使ったケーキを10月のお誕生会のおやつとして提供する予定です☆

今回はカボチャを使ったおいしいお菓子を一つ紹介します!

## ☆かぼちゃケーキ☆

【材 料】(パウンド型 1 個分)

かぼちゃ(中身)・・・100g マーガリン(バターでも可)・・・40g 砂糖・・・40g

卵・・・1 個 ホットケーキ粉・・・100g 牛乳・・・大2(豆乳でも可)

(準備): オープンを 180℃に温めておく。マーガリンをレンジで溶かしておく。

型にオープンシートを敷いておく。

【作り方】

- 1、かぼちゃをレンジで柔らかくなるまで(串がスッと入れれば OK!) 蒸す。
- 2、温かいうちにカボチャをマッシュし、牛乳とよく混ぜ合わせておく。
- 3、ボールに卵を割り入れ、泡だて器でしっかりと泡立てながら、砂糖を2回に分けて入れ、さらに泡立てる。
- 4、3にホットケーキ粉を入れて混ぜ合わせ、2のカボチャも加えてよく混ぜ合わせる。  
※ 生地のはらさは、生地を上から垂らしてみてもリボン状になるくらいまで。  
固そうであれば、牛乳を足してください。
- 5、型に生地を流し込み、温めておいたオープンで 20 分～25 分焼く。

※ 串を刺してみても生地が串にくっついていなければ OK!

表面が焦げそうになったら、アルミホイルを型の上からかぶせて焼いてください。

簡単に出来るので是非、お家でもお試しください!!!

原 夕貴



# 子どもたちの様子

## めばえ



日に日に心地よい風を感じられるようになりました。

園庭で風が吹くたびに両手を上げ「ばあっ！」と嬉しそうな声を上げて気持ちよさそうです。

9月に入り、めばえ組みんなが初めてのお誕生日を迎え、1歳となりました。一人でたっち、歩ける、手づかみ食べ、スプーンを握れる、など成長過程はそれぞれですが、初めての喜びが一つひとつ増えていきます。お友だちと顔を見合わせて笑いあったり、お友だちの帽子を見つけると手渡そうとする仕草が見られたり、気に入った玩具があると、「あー！」と声を上げながらお友だちと取り合いっこもしています。自分の意思を指さしや言葉で伝えようとしている姿、これも成長ですね。自我が芽生え、食べ物の好き嫌いも出てきて、成長を喜ぶ半面おうちでも大変なことは多いかと思えます。しかしこれも成長していく上でとても大切な通り道です。今しかない子どもの姿を、共に温かく見守っていただければうれしいです。

9月はお散歩にも出かけました。バギーに慣れること、歩くことも目的としていましたが、10月は秋の自然を感じながら、お散歩に出かけて行きたいと思えます。

寒暖の差が大きくなる季節です。うす手の上着をロッカーに入れておいてください。

また靴や靴下のご用意をおねがいします。

河本 彩奈

## ふたば



厳しい暑さも和らぎ、少しずつ過ごしやすくなってきています。

毎日子ども達の話し声と歌声でとても賑やかなふたば組。最近はお友達との関わりが増え、お部屋では“おままごと”をしながら『〇〇ちゃん、どうぞ』や『いただきます・おかわりください』などお友達との会話を楽しんでいます。またおやつを食べた後に、保育者や友達と一緒にフリールームへ行って『かごめかごめ』の歌をうたいながら、みんなで輪になって手をつないでに楽しんでいる姿がとても微笑ましいです。また10月は近くの公園へお散歩に出かけたり、園庭で追いかけっこをしたり、体力づくりをしながら、1人1人の子ども達の成長にあわせて毎日の園生活を一緒に楽しみたいと思えます。

さて、9月は秋祭りや敬老週間に参加していただきありがとうございました。お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒にいる時の子ども達の姿はとても嬉しそうでした。引き続き10月の運動発表会でも日頃の子ども達の様子を見ていただきたいと思いますので、楽しみにしててください。

柴本 啓子

# つぼみ



残暑厳しい中も、子ども達のパワーは弱まることなく、追いかっこやカキーン(野球)に大忙しです。

夏の間は行けなかったお散歩にも、だいち組さんに力を借りて行く事が出来ました。お兄ちゃんお姉ちゃん達に手をつないでもらうと、なんといつもの半分の時間で公園までたどり着き、大助かりです。「ぼくは〇〇ちゃんと手をつなぎたい」とお気に入りのお姉さんができた子もいて、頼られるだいち組さんの表情もぐっと、立派に見えます。頼り頼られ、助け助けられ、保育園ならではの素敵な関わりの機会をこれからもたくさん設けていきたいと思います。

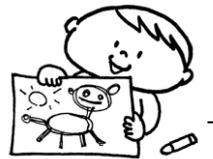
さて、毎日の生活では「かたーい！できなーい！」と言いながらも、パンツやズボンを1人ではけるようになってきたり、お友達との関わりの中では「貸して」「やめて」など言葉で気持ちを伝えられるようになってきたり、喧嘩をしながらですが‘お友達と一緒に’の楽しさが解ってきた様子です。10月のうんどう発表会では、いつも通り元気いっぱい の姿を見て頂ければうれしいです。

※お願い※

トイレに用意して頂いている着替えを、今までは保育者が着替えを取り出しやすく一まとめにしておりましたが、10月からは自分でかごの中からパンツ・ズボン・Tシャツを選んで取るようにします。子ども達が取りやすい様に整理補充を毎日お願いします。子どもが出し入れをしますので、もう一度すべての持ち物にお名前があるか、確認をして下さい。紙パンツにもお名前を書いてください。

水垣 順子

# いざき・ひかり・だいち



まるでシャワーを浴びたかのように、滝のような汗をかいて遊んでいた子どもたちも最近では涼しい浜風の中で、トンボを追いかけたり、かけっこをしたり、子どもたちの様子にもすっかり秋を感じられるようになりました。

これまで一ヶ月に二回、太田先生の絵画指導を受けてきましたが、回数を重ねるごとに少しずつ、自分を表現することができるようになってきました。もちろん、取りかかるまでに時間がかかったり、友達の真似をしてみても・・・という子どももいます。でも、そうして考える時間や見て真似ることで、そこから自分なりに「こうした方がおもしろいかも」「〇〇ちゃんはあるけど、私はこうなった。不思議！」と感ぜられることが大切な経験だと思います。

また、はさみやのりを使うときの集中力もついてきました。のりは「べたべたするから嫌！絶対にしない！」といていた子も、いざしてみると、一回一回タオルで指をふいていたのが、どんどんつける量も増えて、「もっとする！」「いま何個貼れたかな～？イチ、ニイ、サーン・・・」ととても楽しそうに活動できるようになってきました。できた作品(抽象的なもの)をもってくる子に、「これはなにがでてきたの？」「なににみえてくる？」と聞くと、その子どもオリジナルな答が返ってきます。春にはなかなか言えなかった子が、「これはね・・・」とお話してくれるだけでうれしくなります。

年齢があがるにつれて、絵を描く欲求、ものをつくる欲求が高まり、時間も今まで以上に費やすことが増えてきました。そして自分の思いの詰まった作品をととても大事にするようになったと思います。自分の作品はいわば分身に近いものとなってきているのではないのでしょうか。

子どもたちの自由な表現が出てくる絵画活動がもっと深まっていけるよう進めていきたいと思っています。

運動発表会では、毎週しているサーキットの、特に鉄棒や跳び箱をメインにみていただきます。また、異年齢の友達と協力していく競技や、表現あそびの延長としてだいち組によるパラバルーンもありますので、どうぞお楽しみに。そして、11月にはみんなで作った作品をギャラリーに展示いたします。

子どもたちの表現がどんなものとして飛び出してくるのか、楽しみです！

中山 英子